

1 調査日 平成 26 年 7 月 24 日（木）

2 調査の概要

（1）大谷川通常砂防工事現場（長浜市木之本町古橋）

砂防堰堤下流の溪流に特別天然記念物のオオサンショウウオが生息していることが確認されたことから、生物環境アドバイザー制度の助言を受けながら自然環境に配慮した事業を実施している。工事概要および現在の状況について調査した。



（2）男女共同参画センターおよび滋賀マザーズジョブステーション（近江八幡市鷹飼町 80-4）

男女共同参画センターは、男女共同参画の取組を支援するための総合的な拠点施設として、研修・講座等の開催、相談室の充実、交流・活動の支援、情報と調査研究といった事業を展開している。

一方、同センター内に設置されている滋賀マザーズジョブステーションは、仕事と子育てを両立しながら働くためのアドバイスや保育情報の提供、就労に関する個別のカウンセリングや講習・訓練等の紹介、職業紹介を行う窓口と、女性の就労に関する支援をワンストップで行っている。

男女共同参画センターおよび滋賀マザーズジョブステーションの施設の概要および運営状況について調査した。

併せて、男女共同参画センター主催の「女性のチャレンジ支援講座」を受講された方、女性の活躍推進を支援する方、女性の活躍を推進している企業の方と、県民参画委員会を実施し、女性の活躍を推進する取り組みや就労支援などについて、意見交換を行った。

参加者からは、女性の管理職登用について、女性は管理職登用までにやめてしまう人も多い、管理職にいく人が空洞化している。女性にもチャレンジしてほしいが遠慮される。女性の起業で苦労することについては、昔できた自分と今の自分の現状をしっかりと認知させ、その中で、徐々に子供の成長に合わせて仕事の幅を広げていくというキャリアプランをしっかりとつってあげることが大事である。保育園に預けて働いても収支がとんとんで、家にいる方がいいとなるが、家にいると、社会に出る一歩が踏み出せなくなる。いかに輝く自分になっていくか、目標と夢を持たせること。起業している人のネットワークについては、チャレンジ講座の受講生は、交流が続いていて、横だけではなく縦のつながりもあり、モチベーションが上がったり、悩みを共有できたりするといった意見が出された。

